

# 品質・情報セキュリティ方針

バイオバンク・ジャパンはゲノム医療の大きな基盤である。本事業に関連する品質向上及び情報を厳格に保護することは、情報提供元及び情報提供先に対する責任であることはもとより、社会に対する使命でもある。バイオバンク・ジャパンのスタッフは、ここに全力をあげて品質向上及び情報セキュリティの維持と継続的な改善を図っていくことを宣言する。

品質向上及び情報セキュリティを積極的に推進するためバイオバンク・ジャパンメンバーで構成するISO委員会を設置する。ISO委員会は、品質・情報セキュリティマネジメントシステムの確立、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善に責任を持つ。またこの委員会は、QMS及びISMS実施のために十分な資源を配分する。

ここに記す基本方針の効果的な実施を確実にするために、情報に対して潜在する脅威を洗い出し、適切な対策を採る。その手順を品質・情報セキュリティマニュアルに文書化し保持する。

当バンクは、JIS Q 9001 及び JIS Q 27001 に従って、以下の事項を約束する。

1. 提供いただいた生体試料と臨床情報を用い、バイオバンクを構築し、ゲノムと病気の関係調べ、オーダーメイド医療の実現を目指す。
2. 本事業に関連する情報を適切に保護する。
3. 関連する国内国外の法規制要求事項を順守する。
4. スタッフが情報セキュリティに対する責任と手順を認識し、十分に訓練されていることを確実にする。
5. 事業継続計画を導入し、災害時にも当バンクのサービスを継続することを確実にする。

2018年09月18日  
東京大学 医科学研究所  
バイオバンク・ジャパン 事務局  
業務主任 森崎隆幸